

心雑音

収縮中期雑音

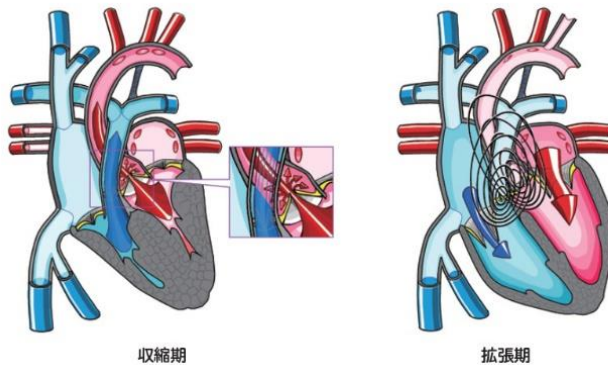
QRコードを読むと iPax の AS が開きます。画面をタップするとその部位にチェストピースが移動しその部位の音が聴こえます。※音を聴くときはイヤホンをご利用ください。



iPax は kikuzosound.com で提供する仮想空間シミュレータです

大動脈弁狭窄 (Aortic stenosis : AS)

1. 大動脈弁部位では、収縮中期にピークに達する駆出性雑音が聴こえてきます。これは典型的な大動脈弁狭窄の雑音で、レバイン (Levine) 分類の3度～4度の雑音です。
2. レバイン分類とは雑音の強度を6段階で表すものです。「1度は殆ど聴こえない様な雑音、2度は誰でもすぐに雑音があると認識できる、3度はかなり大きな雑音、4度は手を「聴くゾウ」のシリコン面に当てると、直ぐに振動 (スリル) が伝わって来る、5度は聴診器を患者の胸壁の一部に当てただけで聴くことができる、6度は、患者の胸壁から聴診器を胸壁から離しても大きな雑音を聴くことができる」というもので、世界中で使われている分類です。
3. この心雑音はイラストで分かるように大動脈弁が開放するや否や、大動脈弁狭窄のため収縮中期駆出性雑音が聴かれ、その部位で発生する振動音が胸壁の表面に伝わった雑音 (S1-Ej-S2) です。
4. 心音疑似法では、daGAAA・ta という音として表現できます。
5. 次に肺動脈弁部位をタップすると、大動脈弁部位で聴いた心雑音より少し小さな音量で dagAu・tala という音になり、そしてS2の呼吸性分裂が聴かれます。
6. 次にチェストピースを三尖弁部位に動かして下さい。
- S1とS2の関係が心基部とは逆になりましたが、やはり肺動脈部位で聴いた時と同じように、S1-Ej-S2と聴こえます。
7. 心音疑似法では、Dagaa-ta となります。
8. そして最後に、僧帽弁部位で心音を聴くと三尖弁部位より音量は更に小さくなります。
9. 臨床的には、大動脈弁狭窄は加齢による動脈硬化性変化であり大動脈弁が硬化してくる病態が一番多いです。この早期段階では、大動脈弁部位だけに駆出性雑音が局限します。
10. 心臓は収縮期に筋肉が固くなりそのため心雑音は心尖部へ伝播する事がしばしばです。また、大動脈瘤でも同様の雑音が聴かれます。
11. 心尖部にも大動脈弁狭窄雑音が伝播するので、僧帽弁閉鎖不全 (全区間性収縮期雑音) との鑑別が必要となります。
12. 一般に心雑音は加齢と共に変化し、全聴診領域に亘って心雑音が聴かれる様になります。治療法は、もし心不全症状が現れた場合には、外科的処置が必要となります。



(引用) 高階経和著 Ausculaide guidebook 株式会社テレメディカ